

桑原義晴※ 北海道地方の農耕地に生ずる雑草の  
種実と幼苗 (続報) (6) キク科※※

Y. KUWABARA : On the Seeds and Seedlings of Weeds Growing in the  
Cultivated Field in Hokkaidô (Continued report) (6) *Compositae*

49. *Artemisia montana* PAMPANINI エゾヨモギ

果実は長楕円形, 長さ2.0内外, 巾0.8~0.9, 果皮は膜質囊状。種子は長楕円形, 扁平無毛, 茶褐色, 長さ1.8, 巾0.5内外, 絹光沢のある淡黄白色の果皮に包まれる。

子葉は楕円形, 円頭, 長さ1.5~3.0, 巾1.0~1.5, 平滑, 緑色, 光沢を欠く, 短柄。第1~2葉は篋状楕円形, 鋭頭, 長さ4.5~5.0, 巾2.0~2.5, 鋸歯0~1, 綿毛, 緑色, 長柄。第3葉は広卵形, 粗鋸歯2, 綿毛, 緑色。(図省略)

50. *Anaphalis margaritacea* BENTHAM et HOOKER ヤマハハコ

果実は微小, 俵状, 白色鱗状毛を生ずる, 茶褐色~赤褐色, 長さ1.0, 巾0.3内外, 冠毛は白色, 小数, 20~25条, 絹光沢, 長さ3.5~4.0。

子葉は卵状楕円形~広楕円形~円形, 鈍~円頭, 長さ1.0~2.0, 巾0.8~2.0, 平滑, 表裏とも黄緑色, 微光沢, 短柄。第1~2葉は長楕円形~広楕円形, 微凸頭, 長さ5.0~6.0, 巾2.0~3.0, 革質, 縁辺に短毛, 両面に白色綿毛を生ずる, 葉は濃緑色, 青黒色の斑点がある, 短柄, 葉柄は巾が広い。(Fig. 35)

51. *Cephalonoplos setosum*

KITAMURA エゾノキツネアザミ

果実是不整長倒卵形, やや扁平, 頂端背側少し高く, 下部はやや狭窄する, 縦に数条の低い肋がある, 無毛, 灰白色, 光沢は弱い, 長さ3.1~3.3, 巾1.0, 冠毛は灰白色, 25.0内外, 羽毛状。種子は長倒卵形。

子葉は楕円形~長楕円形, 長さ5.0~7.0, 巾3.0~5.0, 平滑, 表裏とも鮮緑色, 短柄。第1~2葉は披針状楕円形~楕円形, 革質, 縁辺刺状歯, 表面短剛毛疎生, 緑色, 微光沢, 3第葉は長楕円形, 刺状歯, 裏面は脈上への

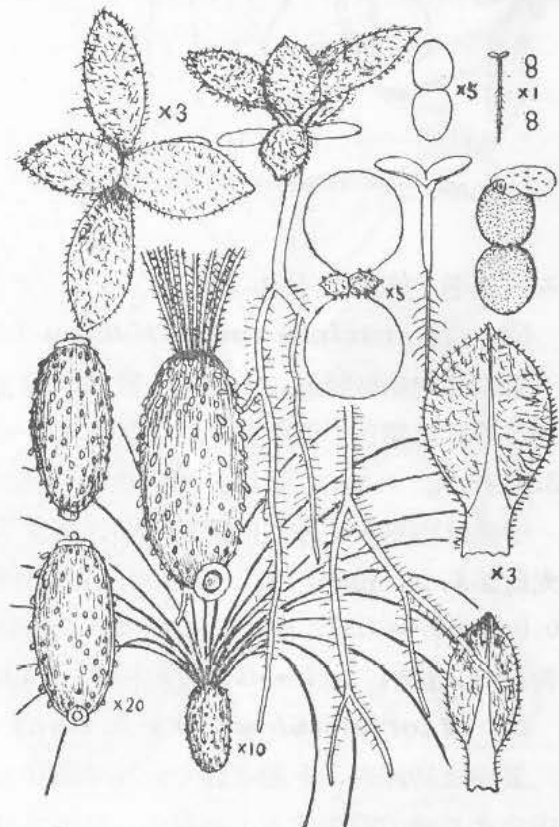
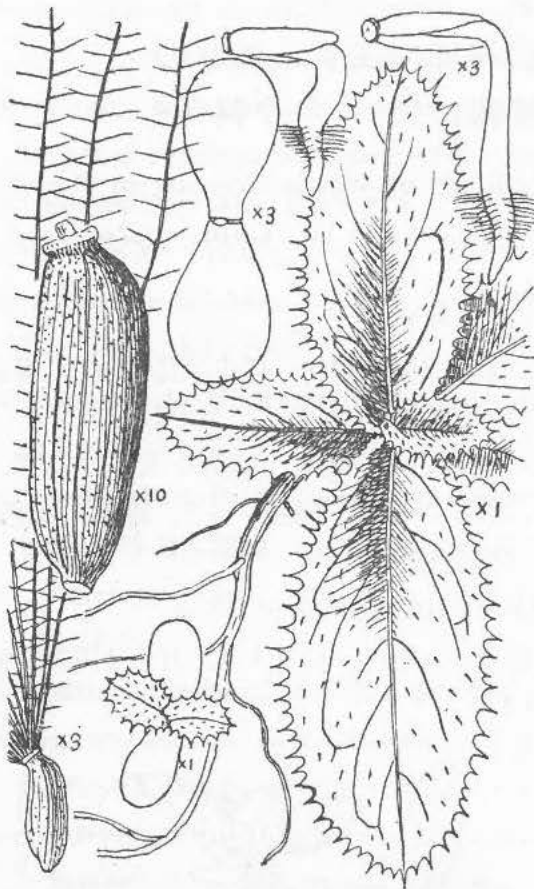
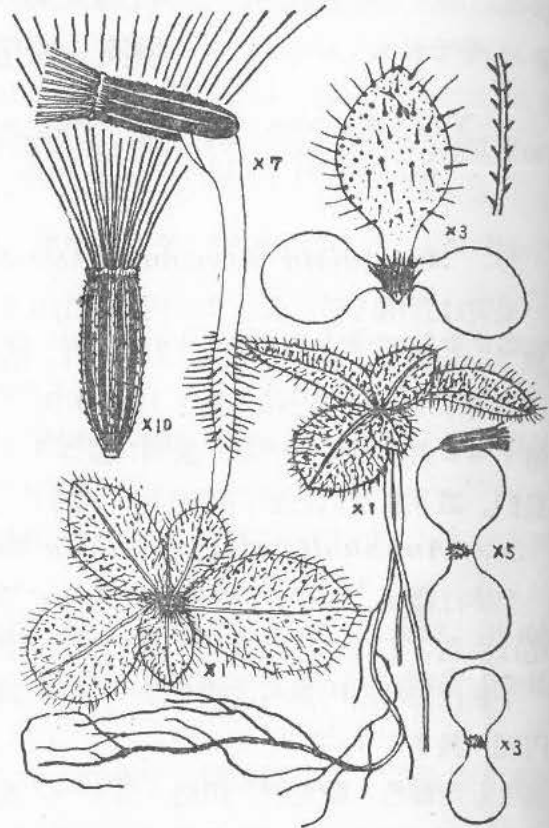


Fig. 35 *Anaphalis margaritacea*  
BENTH. et HOOK.

※ 北海道倶知安高等学校

※※ 北海道科学研究費補助金による研究の一部

Fig. 36 *Cephalonoplos setosum* KITAM.Fig. 37 *Hieracium aurantiacum* LINN.

み刺状毛，無柄。(Fig. 36)

52. *Hieracium aurantiacum* LINNAEUS コウリンタンポポ

果実はやや紡錘形，上端太く截頭，10条の明瞭な肋があり，極めて短い上向する刺毛を生ずる，黒紫色，光沢がある，長さ1.2~1.8，巾0.5~0.6，冠毛は灰白色，有刺，長さ3.0~4.0。

子葉は円形~広卵状円形，円頭，長さ2.0~4.0，巾1.8~3.0，無毛，表裏とも濃緑色，光沢がある，長柄。第1葉は最初倒卵状円形，のち広卵状楕円形となる，鈍頭，長さ5.0~6.0，巾3.0~3.5，縁辺疎に微凸形，鋸歯，紅色，全面に灰白色の長刺状毛密生，葉は濃青緑色，長柄。第2~3葉は楕円形，鈍頭，微凸形鋸歯，長刺状毛，光沢がある。(Fig.37)

53. *Ixeris stolonifera* A. GRAY ジシバリ

果実は紡錘形，上端は長く伸びて嘴状となる，約10条の肋があり，果面には極めて短い内向する鉤毛を生ずる，茶褐色，長さ2.0~2.5，嘴状部は3.0，冠毛は白色，有刺，長さ4.0~6.0。

子葉は広卵形，円頭，長さ1.5~4.0，巾1.0~2.5，平滑，淡緑色，子葉の先端汚褐色，長柄。第1~2葉は広卵形~卵形，円頭，円底~截底，長さ4.5~5.0，全辺，無毛，粉青緑色，のち次第に紫褐色の斑点を生ずる，光沢を欠く，長柄。(Fig.38)

54. *Lactuca Raddeana* MAXIM. var. *elata* KITAMURA ヤマニガナ

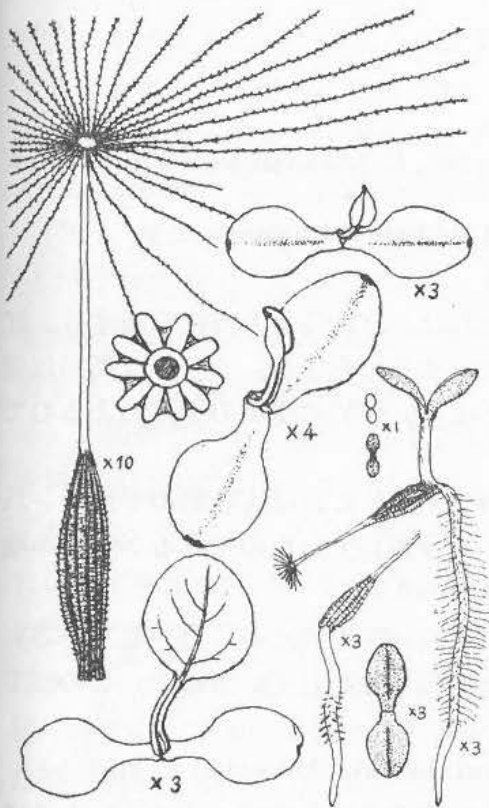
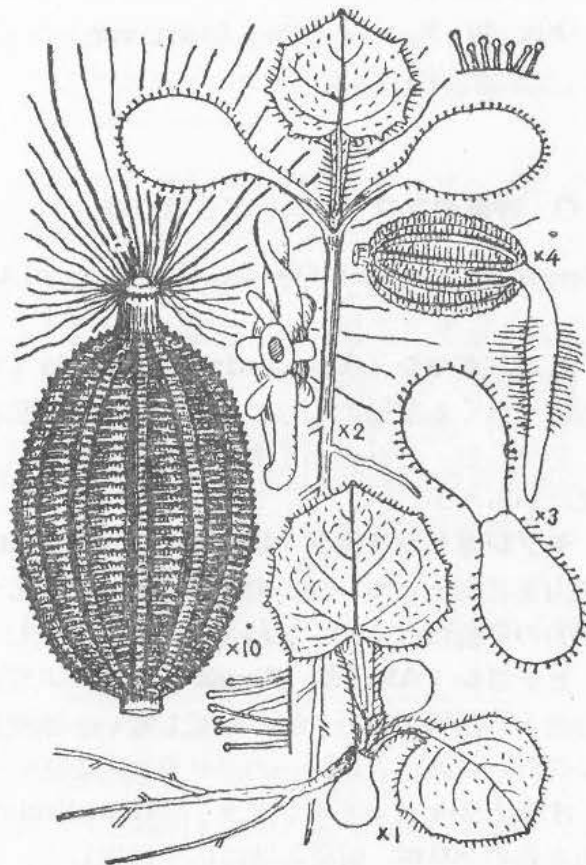
果実は楕円形～広楕円形，著しく扁平，縦に3条の肋と横襞があり，果面は粗糙，黒茶褐色，光沢を欠く，長さ3.0～4.0，巾1.9～2.0，嘴状突起は短い，冠毛は淡黄白色，長さ6.0～7.0。

子葉は筧状楕円形，円頭，裏面は中肋明瞭，長さ4.0～10.0，巾3.0～6.0，子葉の縁辺に白色の軟毛を生ずる，表裏とも緑色，光沢を欠く，長柄。第1葉は心形，最初鋭頭，浅歯牙数対，のち3角状円形，鈍頭，凸状歯牙となる，葉縁，表面，裏面脈上，葉柄ともに白色軟毛を生ずる，葉は淡褐色を帯びる，長柄，有翼。第2葉は心円形，凸状歯牙数対，長柄，有翼，葉柄は下部次第に狭まる。(Fig.39)

55. *Lactuca indica* LINN. var. *Laciniata* HARA アキノノゲシ

果実は楕円形～広楕円形，著しく扁平，中央に1条の肋がある，果面は粗糙，黒色～灰黒色，光沢を欠く，長さ4.0～4.5，巾2.5～2.9，嘴状突起は長く，淡黄緑色，冠毛は白色，6.0～6.5。

子葉は筧状長楕円形，微凹頭，先端紅紫色，長さ3.0～12.0，巾2.3～4.5，子葉の表面，縁辺，子葉柄ともに白色半透明の軟毛を生ずる。子葉は表裏とも緑色，長柄。第1葉は長卵形，鋭頭，長さ17.0，巾7.0内外，浅歯牙数対，葉の表面，縁辺ともに粗毛，裏面平滑，表面緑色，縁辺褐色，裏面淡褐色，葉柄は長く，軟毛を生ずる。第2葉は長楕円形，

Fig. 38 *Ixeris stolonifera* A. GRAY.Fig. 39 *Lactuca Raddeana* MAXIM.  
var. *elata* KITAM.

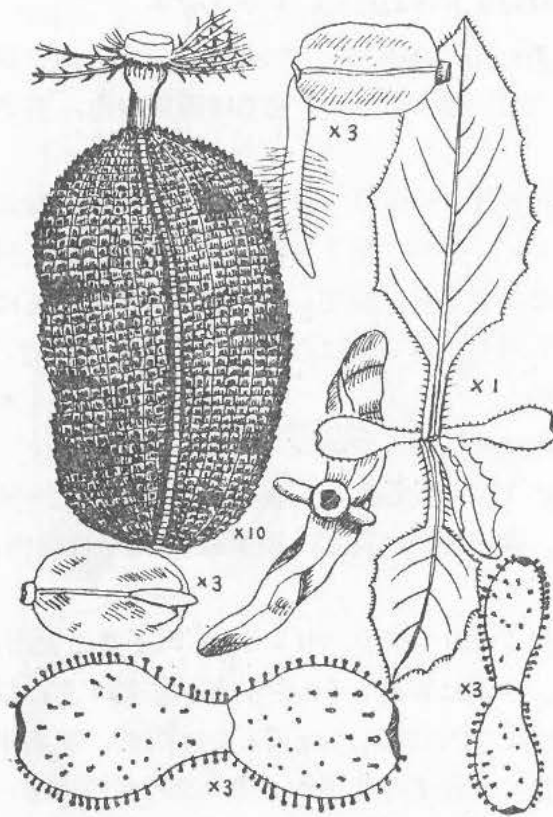


Fig. 40 *Lactuca indica* LINN. var.  
*laciniata* HARA.

鋭尖頭，やや楔底，浅歯牙5~6対，葉縁，裏面脈上ともに微毛，葉柄に軟毛を生ずる，葉の表面は濃緑色，裏面はやや粉緑色，長柄。(Fig. 40)

**ヤマニガナとアキノノゲシの幼苗の鑑別点**

- 子葉は篋状楕円形，円頭，縁辺にのみ軟毛。第1葉は3角状円形，鈍頭，凸状歯牙……………ヤマニガナ
- 子葉は篋状楕円形，微凹頭，先端紅紫色，表面，縁辺ともに軟毛。第1葉は長卵形，鋭頭，浅歯牙……………アキノノゲシ

○ 沖縄のフロラを二分する境界線 (二) : (正宗巖敬). G.MASAMUNE : The Line of Demarcation which Divides the Flora of Okinawa in two Regions II.

**ヒルギダマシ** (*Avicennia officinalis* LINN.) これは，宮古島より南に分布する。紅樹林をつくる樹種の一つで，その果実は海流によりたやすく分布する。この事は私が以前に発表した。したがって本種が宮古島を北限とするのは，気候的環境の制約によるのではなかろうか。

**ヤブレガサウラボシ** (*Dipteris conjugata* REINWARDT) これは古い型の羊歯で，八重山を北限としている。恐らく，この種はもつと北まで分布していたのであるが，何か地理的の変動のために，これより北では絶滅したものであろう。

**ヒナヨシ** (*Arundo donax* LINN.) 八重山，特に西表の断崖面に多く自生している。台湾と共通種であり沖縄には産しない。本種は台湾には広く分布しているので，この点では台湾と，西表とは同一のフロラに入るといつてよい。

**オモトダケ** (ゴザダケザサ) (*Arundinaria gozadakensis* MASAM.) は石垣島と，西表島の500m，前後の地に広く自生している，極めて節の高いもので，丈の高いものは3m位になる。古くから，オモトダケとして知られていた。本種は八重山地区をフロラ的に特徴づけた重要な種であることは，かつて私が本誌で発表したとうりである。(つづく)